



けんしゅうしましよ

道徳 主題名 相手の気持ちを考えて
 中心内容項目 B 主として人との関わりに関すること
 (友情・信頼)
 資料名 知らない間の出来事 (私たちの道徳)
 6の1 松本学級

7月8日(水) 2校時、6の1において道徳の授業が行われました。今回は、総合単元ユニットで構成された授業を展開しました。



今後の道徳の授業作りに向けて その3

松本先生の授業研を通して、価値に対する見取りや授業の中での時間配分のあり方などについて考えることができました。また、つぶやきをひろう、意図的な指名、など一人一人の特性を生かして授業を進めることができている、日常的な学級経営の賜物だと感じました。

①価値に対する見取り

授業を行う上で、1時間の終わりに、子どもたちに「何を学ばせたいか」教師としておさえておくことは必要なことである。また、授業を公開するといった点から考えても明確にしておいた方がよい。
 今後は、指導案の中に「価値への見取り」の段階でおさえたい意識や意欲を明記していく方向で進めていく。

②時間配分について

資料の読み取りには、時間が必要である。45分間の中で後半の「考えを創造」「発信」で十分な時間を確保するためにも、「精選した発問」「ペア交流のタイミングや回数」など準備段階でしっかりと練習しておくことが必要。
 また、国語科を中心として書く力や伝える力、資料の内容をつかむ力など引き続き指導していくことが大切。

③その他

- ・子どもの考えに対して ～評価せずに「なるほど。」と応えているところ(受容)がよかった。
- ・アンケート ～1時間の授業の中で「何を学ばせたいか」を明確にするために、学級の実態をアンケートで把握する。また、子どもたちが資料と関連付けながら、自分事としてとらえていくことができるようにするためにも活用する。
- ・板書の仕方 ～「縦書き、横書き」「アンケートを貼る、貼らない」など揃えたほうがよい。
 ⇒板書、ノートともに縦書きにする。

校長より

アンケートの扱い方や板書など、全校で統一できるところは、統一していくとよい。また、互いに授業を見る機会を作ることによってお互いが鍛えられるので、日常的な授業交流も進めていくとよい。

提案授業をしてくださった松本先生ありがとうございました。
 夏休み最終日に行われる研修からは、指導案検討がいよいよ始まります。夏休みを有効に使って指導案作りを進めて行きましょう。8月7日(金)、14日(金)を交流日に設定していますので、活用してください。